

2011年2月8日  
東日本旅客鉄道株式会社

## エキは、エコへ。

～「エコステ」モデル駅の工事着手について～

JR東日本では、「グループ経営ビジョン2020 挑む」に示した、省エネルギー・再生可能エネルギーなど様々な環境保全技術(エコメニュー)を導入する取組み「エコステ」を開始します。  
そのモデル駅第一弾として、中央線四ツ谷駅の改良工事に2011年春より着手することとなりましたのでお知らせします。(2011年度内の完成を目指します。)



(別紙参照)

### 1. 「エコステ」の取組み

「エコステ」では、4つの柱で環境に配慮した取組みを進めてまいります。

#### 一歩進んだ省エネルギー化の推進【省エネ】

高効率照明・高効率空調機など消費エネルギー削減に直接寄与する取組み

#### 再生可能なエネルギーの積極的な導入【創エネ】

太陽光発電など化石燃料に頼らないエネルギーを創出する取組み

#### お客さまが「エコ」を実感できる施設の整備【エコ実感】

自然換気システムなどエコを実感いただける取組み

#### 人と環境の調和により活気を創出【環境調和】

駅舎屋上等の緑化により、自然や地域との関わりを重視した取組み

### 2. 第一弾モデル駅(四ツ谷駅)での実施内容

当社の「エコステ」モデル駅の第一弾として、緑豊かな江戸城外堀跡に位置している四ツ谷駅の周辺環境を活かし、幅広く「エコステ」の取組みを感じていただける駅を目指します。

省エネ設備を導入するとともに、駅社員が積極的に省エネに取り組むことで、四ツ谷駅ではCO<sub>2</sub>排出量40%削減(2008年度比)を目指します。(年間189t)

CO<sub>2</sub>189tは、スギの木約13,500本が1年間に吸収するCO<sub>2</sub>量に相当します。

一般の家庭に換算すると約38世帯が年間に排出するCO<sub>2</sub>量に相当します。

(導入を進める設備)

		主な内容	CO <sub>2</sub> 削減効果
省エネ		駅社員の積極的な省エネの取組みを支援するため、照明スイッチに対する範囲の区分変更や電力量計を設置します。	年間 27t
		ホームやコンコースにLED照明を導入します。	年間 113t
		電気掲示器や車掌用ITVをLED化します。	年間 13t
		トイレでの節水や空調設備の高効率化、高効率変圧器への取替えを行います。	年間 17t
		昼間の電灯消灯のためのトップライトの設置や、駅業務施設への家庭用燃料電池の導入を実施します。 トップライト：採光用の天窗	年間 6t
創エネ		赤坂口の駅舎の屋上に太陽光発電(50kW)を設置します。	年間 13t
エコ実感		お客さまに取り組みをごらんいただけるエコ情報表示板の設置や、駅出口付近への保水性舗装を設置し、歩行者空間での熱環境の改善を目指します。	-
環境調和		駅舎屋上にポケットパークの設置や、ホーム上家、擁壁の緑化を行います。 ポケットパーク：都市の中に設けられた小公園	-
合 計			年間 189t

(参考)

グループ会社の取組みとして、(株)アトレはアトレ四谷店内照明のLED化・同屋上における太陽光発電パネルの設置、(株)ジェイアール東日本企画はサインボード照明のLED化を実施いたします。また、駅の中の店舗においてもLED化などの環境の取組みを進めます。

### 3. 今後の取組み

「エコステ」モデル駅の取組みについて、今後も順次進めてまいります。現在「京葉線 海浜幕張駅」での検討を行っております。

### 4. 「JR東日本環境ロゴマーク」デザインの決定について



JR東日本では、環境にやさしい乗り物である鉄道を通じ、「エコトレイン」をキーワードとして、「エコステ」をはじめとしたさまざまな環境活動を展開してまいります。

2010年2月、当社のエコロジー活動の活性化をめざし、皆さまから親しまれる環境ロゴマークのデザイン案を募集し、応募総数459件のなかから決定いたしましたのであわせてお知らせいたします。

# 四ツ谷駅における整備内容

